

E 【業種別：サービス業（飲食業含む）】

1. 一宮商工会地区におけるサービス業の景況《調査対象事業所数：14》

令和5年10月～12月期の景況

サービス業の景況について、対象の事業所に前年同期と比較した今期の業況と今後の見通しの業況を設問により確認したところ、下記の②、③の業況D Iの表に示したおり、今期のサービス業の業況D Iは1、今後の業況D Iは2となり、対前年比はそれぞれ9ポイント、3ポイント好転となっている。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- | | | | |
|-------------|--------|--------|---------|
| ②業況（今期） | ①楽になった | ②変わらない | ③苦しくなった |
| ④業況（今後の見通し） | ①良くなる | ②変わらない | ③悪くなる |



②業況D I（今期） ①「楽になった」— ③「苦しくなった」

	①楽になった	②変わらない	③苦しくなった	D I	
業況	3	9	2		1

④業況D I（今後の見通し） ①「良くなる」— ③「悪くなる」

	①良くなる	②変わらない	③悪くなる	D I	
業況	4	8	2		2

〈令和5年〉 ②今期の業況D I 1（対前年比 9好転） 〈令和4年〉 ②業況D I △8

④今後の業況D I 2（対前年比 3好転）

④業況D I △1

◎サービス業の主要D I

前年同期と比較した主要D I（売上高・採算・資金繰り）を設問により確認したところ、売上高D Iは4、採算D Iは0、資金繰りD Iは△3となっており、対前年比で売上額D I、採算D I、資金繰りD Iはそれぞれ6ポイント、5ポイント、3ポイント好転となっている。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- | | | | |
|-------|--------|--------|---------|
| ○売上高 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |
| ○採算 | ①良くなつた | ②変わらない | ③悪くなつた |
| ○資金繰り | ①楽になつた | ②変わらない | ③苦しくなつた |



サービス業景況図 ①「良好・増加」—③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
売上高	6	6	2		4
採算	3	8	3		0
資金繰り	0	11	3		△3

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」としています。

〈令和5年〉 売上高D I	4 (対前年比 6好転)	〈令和4年〉 売上高D I	△2
採算D I	0 (対前年比 5好転)	採算D I	△5
資金繰りD I	△3 (対前年比 3好転)	資金繰りD I	△6

◎サービス業の業種別項目D I

業種別項目D Iは、前年同期と比較した客単価、客数、仕入単価、従業員について設問により確認したところ、客単価D Iは6、客数D Iは5、仕入単価D Iは9、従業員D Iは2となっており、対前年比で客単価D I、客数D I、従業員D Iはそれぞれ3ポイント、7ポイント、6ポイント増加し、仕入単価D Iは7ポイント減少している。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| ○客単価 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |
| ○客 数 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |
| ○仕入単価 | ①上がった | ②変わらない | ③下がった |
| ○従業員 | ①増えた | ②変わらない | ③減った |



設問の結果

業種別項目D I (サービス業) ①「良好・増加」—③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I
客単価	7	5	1	6
客数	7	4	2	5
仕入単価	9	4	0	9
従業員	2	12	0	2

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和5年〉 客単価D I	6 (対前年比 3增加)	〈令和4年〉 客単価D I	3
客 数D I	5 (対前年比 7増加)	客 数D I	△2
仕入単価D I	9 (対前年比 7減少)	仕入単価D I	16
従業員D I	2 (対前年比 6増加)	従業員D I	△4

[一宮商工会地区のサービス業が直面している問題点]

◎仕入単価の増加	7事業所
◎人件費の増加	7事業所
◎諸経費の増加	6事業所
◎店舗の老朽化	4事業所
◎従業員の確保難	3事業所
◎需要の停滞	2事業所
◎消費者ニーズへの対応	2事業所
◎取引条件悪化	2事業所
◎熟練技術者確保難	1事業所

《サービス業者のコメント》

- ◆外的要因による状況変化への対応が難しい。
- ◆コロナ緩和による人の流れが良くなつたこと。

2. 愛知県内商工会地区のサービス業の景況 中小企業景況調査（愛知県概略版）より抜粋

«サービス業は採算D Iが低下、売上額D Iが悪化、資金繰りD Iが上昇»

サービス業では、売上額D Iが4.2となり、対前期比で△13.6ポイント悪化した。採算D Iが△29.6となり、対前期比で4.6ポイント低下した。資金繰りD Iが△2.8となり、対前期比で5.4ポイント上昇した。

次期は、採算D Iが好転し、売上額D Iが低下、資金繰りD Iが悪化する見通しである。

サービス業の主要D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 4.2 (対前期比△13.6悪化) 次期予想 1.4 (対前期比 △2.8 低下)
- ・採算D I △29.6 (対前期比 1.7 低下) 次期予想 △26.8 (対前期比 2.8 好転)
- ・資金繰りD I △2.8 (対前期比 5.4 上昇) 次期予想 △7.1 (対前期比 △4.3 悪化)

〈サービス業景況図〉

時期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
05年 7月～9月		17.8 ↗		△25.0 ↘		△8.2 ↗
05年 10月～12月		4.2 ↘		△29.6 ↘		△2.8 ↗
06年 1月～3月 (見通し)		1.4 ↘		△26.8 ↗		△7.1 ↗

〔一宮商工会地区と愛知県概略版の比較〕

令和5年10月～12月のサービス業の景況は愛知県概略版では売上額D Iが悪化、採算D Iが低下、資金繰りD Iが上昇となっている。一宮商工会地区は、売上高D I、採算D I、資金繰りD Iの全てが好転している。今後、愛知県概略版では売上額D Iは低下、資金繰りD Iが悪化、採算D Iが好転するとみられ、一宮商工会地区の業況は好転すると推測される。